

2021年7月28日
JR東日本 仙台支社

JR東日本仙台支社ビルの使用開始について

JR東日本仙台支社では、2019年8月から支社ビルの建替えを進めておりますが、新支社ビルの使用開始が2021年9月21日(火)に決定しましたのでお知らせいたします。

1. JR東日本仙台支社ビルについて

JR東日本仙台支社ビルは、建物の老朽化と耐震強度不足のため2019年8月から建替え工事を進めております。新たな支社ビルでは地震等災害時の支社機能強化を図るほか、様々な取り組みによりESG経営を推進し、SDGsの達成に向け地域の皆さまと共に歩んでいきます。

(1) 建物概要

名称：JR東日本仙台支社ビル
住所：仙台市青葉区五橋一丁目1番1号
構造：鉄骨造 地上7階建て（地下1階）
延床面積：約19,540㎡



外観イメージ

(2) 新支社ビルコンセプト

「Fit(フィット)」

- ・あらゆる変化にフィットし、サステナブルな仙台支社を目指して様々な取り組みを推進することを目的にコンセプトワードを設定しました。

(3) 新支社ビルの特色・特徴

- ・48時間対応の非常用電源を設け地震等災害発生時の支社機能強化を図ります。
- ・エントランス壁面に宮城県産木材を採用し、地域資源の活用と木材利用によるCO₂の削減を行います。
- ・BEMS※により照明や空調のエネルギー消費量を監視・分析し、最適な運転状態にコントロールすることでエネルギー使用量の低減を図ります。

※BEMS: Building and Energy Management Systemの略(ビル・エネルギー管理システム)

- ・JR東日本の支社ビル内に初めて、フィットネスクラブ「ジェクサー・ライトジム&スパ24仙台店」が出店します。



1階エントランスイメージ

2. 新支社ビルでの新たな取組み推進について

(1) ワークスタイル改革の取組み

- ・これまで部署ごとに分かれていた仙台支社の執務室をオープンオフィスとして計画し、系統や組織にとらわれない業務連携を促進します。
- ・社員一人ひとりが業務の内容に合わせて場所を選んで働くことができるよう、ABW※の考えに基づいた様々な用途のスペースを設けています。

※ABW:Activity Based Working の略

(業務の内容やその日の気分に応じて、働く「時間」と「場所」を自由に選択できる働き方)



部署毎にグループアドレスを実施
業務に応じて配席変更が可能



業務の内容に合わせて働く場所を
選べる ABW コーナー



大人数での打合せに対応した
ミーティングコーナー

(2) 新しい生活様式に対応した設備の導入

- ・エントランスにセキュリティゲートを設け入退館者を記録すると共に、無人受付システムを導入し、受付時の接触機会を無くすことで接触による感染リスクを減らします。
- ・エレベーターホールの混雑度を検知し、エレベーターを優先配車するシステムを導入することで三密軽減となるほか、非接触で行先登録ができるエレベーター操作盤を採用し、接触感染リスクの軽減を図ります。

(3) 多様な人材に対応した施設の整備

- ・女性社員の産後の復職支援として、さく乳や体調不良時に休養できる場所を整備し、女性が働きやすい環境整備を行います。
- ・多様な人材に配慮して、多機能トイレ等を設けています。

(4) JR東日本メカトロニクス㈱と顔認証技術に関する実証実験を予定

- ・入退館セキュリティゲートの一部通路と社員食堂において、顔認証技術に関する実証実験を予定しています。